

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	総務部
	課室名	総務課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
1 - 4 - 1	災害に強いまちづくりを進める
重点施策ID	重点施策名
1 - 4 - 1 - 3	多面的機能を有する農山村環境の整備

2. 事業名等	
事業名	救急排水ポンプ設置事業
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	
事業主体	市
実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 19 年度 ～ 平成 23 年度
根拠法規	災害対策基本法
各種の計画への反映 (=根拠計画)	豊後大野市地域防災計画
事業ID	

3. 事業の内容等											
事業の背景	<p>犬飼町河島団地においては、平成2年の床上浸水の被災以降、床上・床下浸水等の被害を何度も受けていた。この改善については地域の長年の要望であった。</p>										
補助事業	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>補助率</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1/</td> <td>1/</td> <td>1/</td> </tr> </table>	名称	補助率	国	県	その他			1/	1/	1/
名称	補助率	国	県	その他							
		1/	1/	1/							
起債の種類	① ② ③										
事業の目的及び対象	<p>【目的】 河島団地の内水排水対策事業を実施し、災害から住民の生活を守る。</p> <p>【対象】 市民（犬飼町）</p>										
事業概要	<p>・19年度、排水ポンプ設置 / 操作盤 / 引込み開閉器盤 / 等 ほか工事及び保守 ・20年度以降、救急排水ポンプ保守点検委託（発電機レンタル含む。）</p>										
前年度の評価	<table border="1"> <tr> <th>評価結果に基づき見直した内容</th> </tr> <tr> <td>E 維持</td> </tr> </table>	評価結果に基づき見直した内容	E 維持								
評価結果に基づき見直した内容											
E 維持											
	<p>昨年の評価を踏まえ、契約時期を1ヶ月早める予算とした</p>										

4. 予算・決算の状況		(単位：千円)						
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			29,000	1,239	1,365	1,365	1,365
	計	0	0	29,000	1,239	1,365	1,365	1,365
決 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			17,678	1,208			
	計	0	0	17,678	1,208			

5. 実績及び達成目標等							
過去3年間の事業実績と課題							
平成18年度	<p>【実績】</p>						
平成19年度	<p>【実績】 ポンプ2台/操作盤1台/引込開閉機等</p>						
平成20年度	<p>【実績】 保守点検：機器メンテナンス（水中ポンプ点検）4ヶ月、発電機設置及びメンテナンス一式</p>						
課 題	<p>期間を限定して発電システムのリースを行っているが、期間外における災害の発生が心配される。システム上、試運転ができない。</p>						
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	犬飼町柴北川救急排水ポンプの設置数						
効率指標	-						
成果指標	床上及び床下浸水件数						
単 位	件						
年 度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備 考
種 別			件数	件数	件数	件数	
目 標 値			0	0	0	0	
実 績 値			0	0			
達 成 率			100%	100%			
備 考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	総務部
	課室名	総務課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	当該地域住民を浸水等の災害から守ることが必要であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	大分県河川事業との共同施行であり、内水面施設の設置は市が実施主体であるため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	大分県との共同施行であり、市民の安心・安全を守るために必要であるため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	災害の有無に関わらず、万一の災害に対応できる備えは必要であるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	昨年の評価を踏まえ、契約時期を1ヶ月早める予算としたため、22年度以降も同程度の予算を必要とする。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	現状の体制で対応が可能である。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	市民を災害から守るため、現状維持が望ましい。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度において設備整備はできたが、20年度より災害時に対応するための保守点検（発電機設置及びメンテナンス一式を含む）が必要になったことから、ランニングコストの削減対策を検討する必要がある。 契約時期を1月早め契約期間を6月～10月に伸ばしたものの、期間を限定しての発電システムのリースであり、期間外における災害の発生が心配される。 システム上、試運転ができない。 災害時に対応する地元消防3分団の機械操作の研修・訓練が必要。 					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	